

ノムラの教え

弱者の戦略99の名言

組織はリーダーの 力量以上には伸びない

1999年、私は阪神の監督に迎えられた。ヤクルトの9年間でノウハウを蓄積し、実績を積んだので自信はあった。ところが、思うように強化が進まない。その根本的な原因が球団トップであるオーナーにあると考えた私は、当時の久万俊二郎オーナーに面会を求め、はつきり言った。

「阪神が低迷している第一の原因は、失礼ながら、あなた自身です」

そうして3時間半にわたり、さまざまな改革案をまくしたてた。会談の後、オーナーはこう語っていたそうだ。

「野村の言うことはいちいち腹が立つけれど、言っていることは正しい」

それから短期間のうちに、様々な改革が矢継ぎ早に実行に移された。私の後を継いだ星野仙一監督のもとで、阪神が18年ぶりのリーグ優勝を果たしたのは、球団のリーダーであるオーナーの意識が変わったことが何よりも大きかったと私は考えている。リーダーの力量が組織の浮沈を決めると言ってもけっして大げさではない。私自身も監督だったころはつねに自分自身のレベルアップに努めていたものだ。

文・野村克也 text by Katsuya Nomura

Profile

1935年 京都府生まれ。
54年 京都府立峰山高校卒業。南海ホークス(現・福岡ソフトバンク)ヘテスト生で入団。
4年目に本塁打王。65年 戦後初の三冠王(史上2人目)など、MVP5度、首位打者1度、本塁打王9度、打点王7度。ベストナイン19回、ゴールデングラブ賞1回。
70年 監督(捕手兼任)に就任。73年 バリリーグ優勝。のちにロッテオリオンズ、西武ライオンズでプレー。
80年に45歳で現役引退。通算成績2901安打、657本塁打、1988打点、打率.277。
89年 野球殿堂入り。
90年 ヤクルトスワローズ監督に就任、4度優勝(日本一3度)。99年から3年間、阪神タイガース監督。
2002年から社会人野球・シダックスのゼネラル・マネージャー兼監督。
03年 都市対抗野球大会で準優勝。06年度 東北楽天ゴールデンイーグルス監督就任。
09年度 退任。24年間の監督生活で1565勝1563敗。「生涯一捕手」が座右の銘。

